

ごあいさつ

平成30年12月1日、土佐女子新中校舎落成祈念式典にご臨席を賜りました皆様にご心より御礼申し上げます。

新中校舎を建築するにあたって、私たちは仮校舎を準備する方法をとらず、生徒たちはいままでの校舎で授業を受けることにしました。古い校舎の北側に、つまり中庭を占領した形で、工事を行うことになりました。生徒たちに随分、負担をかけ、工事を行ってくださる側にもさまざまな制約をかけてしまい、工事は遅れましたが、今年5月には、新しい校舎にはいることができました。現在は新中校舎と東校舎を繋ぐ工事が継続されています。また、校庭西北に道具類を収納する倉庫棟と呼ばれる建物の建築の建築が続いています。

解体作業やその他の車輛の出入りのため、天理教様

との境の塀をとって、その上通路までお借りして、作業をさせていただきました。

正門を入るとずっと広がっていた私たちの憩いの空間として親しまれ、梅の木が彩りを添えていた中庭は、今はありません。この梅の木々は講堂の東側に移され今年も早春の卒業式のころ魁の花を咲かせました。その代わり新中校舎の南側には、29年度の卒業生から贈られた桜の苗が植えられ、何年か先には、お城の緑に映える薄色のピンクの花を咲かせることでしょう。

旧中校舎は大規模な増改築の一環として、着手されたもので、昭和37年10月24日起工式を行い、38年8月末に竣工しました。最初は4階建てであったものがその後1階分が増築されました。

次いで、二期工事として、昔の土佐女子の北側にあった知事公舎跡地に旧体育館が建てられました。現在の体育館と同じダイヤモンドシエルと称される構造で、優美で使いやすい講堂兼体育館が生まれました。

昭和40年10月1日起工式、41年9月30日は、

竣工落成式10月22日でした。

その後、現在の土佐女子講堂兼体育館は平成25年11月30日、落成記念式典を行いました。鉄筋コンクリート造り、地下1階、地上4階建て、駐輪スペースが地下にあります。

耐震のためにこの数年は校内あちこちで工事が行われ休むひまありませんでした。これで工事も一段落し、離れてあった北校舎、新中校舎、南校舎、東校舎が繋がります。学習するによい恵まれた環境があるということ、この学校の土台をひたすら築いてこられた方々に感謝すると同時に、これらをいつまでも維持していく私たちの強い気持ちが必要になります。

建築の現場を目の当たりにして思うことは、しっかりした基礎の上に、はつきりした方向性を持って、積み重行く努力がなければ、よい材料を生かすことは出来ないと、なにかを形にしていくことの法則を見る気がいたします。教育も同じではないでしょうか。

現在の教育環境が整いましたのは、創立より女子教

育の将来に思いを寄せ、ひたすら、円満な人格を持ち心身共に健康な女性を養い、かつ、社会的進出を可能にする高学力の養成に力を注いできた先生方や、ご家庭の協力によるきめ細かな教育目標があつたからこそと感謝の気持ちを込めて今日のごあいさつとさせていただきます。

平成30年12月1日

土佐女子中高等学校校長 荒川 操